科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名<英訳>	ILASセミナー：文系・理系について考える ILAS Seminar :Rethinking humanities and sciences			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　教授　　宇佐美　文理 学術研究展開センター 特定教授 沼田　英治		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	受講定員(1回生定員)	15 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	総合研究2号館第10演習室 (本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	学問論 / 学問の分類						

[授業の概要・目的]

人文社会科学・自然科学とは何かを改めて考えるとともに、大学受験までの進路選択としての文系・理系との関係を見直す。

[到達目標]

将来文系と理系の枠にとらわれずに活躍できる素養を養う。

[授業計画と内容]

第１回　履修者が、自己紹介とともに文系あるいは理系に進んだ理由や経緯を話し、進路選択の在り方について議論する。

第２回　担当教員が、文系あるいは理系に進んだ理由や経緯を話し、進路選択の在り方について議論する。

第３回　人文社会科学のうちで特に哲学の歴史的な成り立ちについて担当教員が紹介し、質疑応答を行う。

第４回　自然科学のうちで特に生物学の歴史的な成り立ちについて担当教員が紹介し、質疑応答を行う。

第５～10回　担当教員が用意した課題について議論を行う。文理融合的な分野で活躍するゲストを招くこともある。

第11～13回　これまでの履修内容を参考に、それぞれの履修者の考える文系および理系の学問について発表し、質疑応答を行う。

第14回　全体を振り返り、文系と理系について総合的な討論を行う。

第15回　フィードバック

[履修要件]

特になし

ILASセミナー：文系・理系について考える(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：文系・理系について考える(2)

[成績評価の方法・観点]

授業への参加状況（100点）

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

自分が進もうとする分野がどのような学問であるのかを知ることができる書物を自分で探し、11回までに読んでおいてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]